

JENESYS2022 日東ティモール「外交関係開設 20 周年記念」交流の記録 (オンライン招へい)

1. プログラム概要

【目的】日東ティモール外交関係開設 20 周年を契機に、東ティモールの将来活躍が期待される青年が、日本人との交流や日本の歴史・文化を体験することで、日本についての知見を深めるとともに、日本と東ティモールの類似点や相違点を発見し、訪問地での学びや魅力を SNS 等で発信することで、両国の友好関係の強化、及び経済協力の推進を目的として実施しました。

【参加者】東ティモールの大学生・社会人 計 32 名

【訪問地】訪日プログラム：東京都、沖縄県、広島県

【日程】

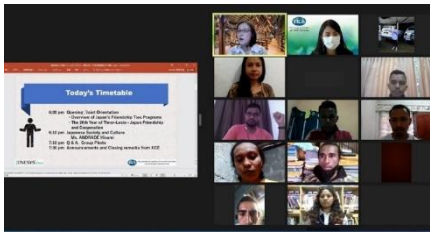
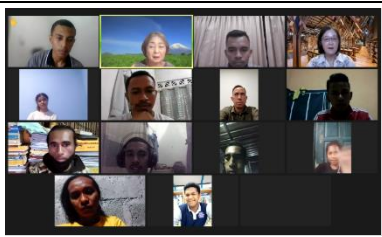
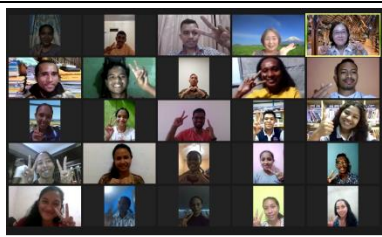
日にち 訪問地	内容	参加者の質問・反応
事前学習（オンライン）		
1 回目 2022 年 7 月 29 日	（注）他のプログラムと合同で実施 【オリエンテーション】 【日本理解講義・質疑応答】 「日本の社会と文化」 講師：JICE 日本理解講義講師 アンドラディ久美氏	講師が準備した色鮮やかな資料が映し出され、参加者は熱心に聴講しました。また、クイズ等の参加型講義を通じて講師とのコミュニケーションを楽しんでいました。参加者からは、「日本へ留学する場合、日本語を事前に学習しておく必要はありますか」「日本は災害が多いですが、災害が発生した後、どのように街を復興するのですか、また住民に対して精神面でどのようにケアを行いますか」といった多くの質問がありました。
訪日前迄 の 個別学習	【動画視聴】「事前オリエンテーション」 「外務省挨拶」「ホームビジット体験」 「日本文化理解（京都）」「日本語学習」	プログラムへの理解を深めるため、参加者は、日本やプログラムに関する動画を視聴しました。
オンライン訪日プログラム		
1 日目 2022 年 12 月 14 日	【オリエンテーション】 【日本理解講義・質疑応答】 「日本の魅力」 講師：千葉大学国際未来教育基幹教授 織田雄一氏	講義中、参加者は真剣に聴講していました。「日本ではひらがな・カタカナ・漢字があるとのことですが、一番多く使うのは何ですか」「出生率の低下は今後、日本社会にどのような影響を及ぼしていくのですか」

	【参加者間交流】 ① オリエンテーション	「空手と柔道の違いは何ですか」「訪日後、日本でしてはいけないルールは何ですか」など、多くの質問がありました。 参加者間交流では、グループに分かれて協力しあいながら円滑にリーダーと副リーダーを選出していました。
2 日目 2022 年 12 月 15 日 沖縄県	【日本文化体験】沖縄県読谷村 【講話 1】 「東ティモール FM 開設エピソード」 FM よみたん局長 仲宗根朝治氏 【視察】読谷山 花織会館 【講話 2】「読谷山花織紹介」 読谷山花織事業協同組合理事長 又吉弘子氏 【講話 3】「沖縄の食文化について」 琉球料理传承人 大宜味かおり氏	三件の講話全てが東ティモールと深い関係がある内容であったため、参加者からの反応が途切れることなくチャットに書き込まれ、関心の高さがうかがえました。 参加者は「東ティモールを訪問してどう思いましたか」等、自国の印象や日本との違いについて尋ねる内容が多くありました。 「沖縄の食文化について」の講話では、自国の料理と比較しながら、沖縄の食文化に大変関心を持ち、「ぜひ沖縄に行って一緒に料理を作りたい」などの意見や感想が多くありました。
3 日目 2022 年 12 月 16 日 広島県	【視察】広島ピースツアー ツアー開催：株式会社m i n t ガイド：福原信太郎氏 【バーチャルツアー】広島市内 【質疑応答】 【グループ別交流】	丁寧に構成されたピースツアーの内容に、参加者は熱心に聴講していました。原爆の威力の大きさには「speechless（言葉を失う…）」とショックを受けていましたが、路面電車が原爆投下後 3 日で運転を再開したと紹介した際は「何と早いことでしょう」「信じられない」といった驚きと感心の反応がありました。また、様々な視点からの質問も多く出されました。参加者から「憎しみを持ってはいけない、結局同じことになる。Forgiveness（赦し）の気持ちを大事にという教訓は素晴らしい。ただ、実行するのはたやすいことではないと思います。どうすればよいのでしょうか」と質問があり、ツアー主催者から「世界中に友達をつくることから始めましょう」との回答がありました。
4 日目 2022 年 12 月 17 日	【ホームビジット】 沖縄県読谷村 2 家庭 ① 地域紹介 ② ホームビジット	ホームビジットでは、多くの参加者が画面越しに対面し、活発に質疑応答をしていました。ホストファミリーが、家庭菜園で採

沖縄県	【交流】 琉球大学法政エイサー（伝統エイサー団体） ① 法政エイサー紹介 ② メンバーとの交流 ③ 法政エイサー演舞披露 ④ カチャーシー体験（ホストファミリーも参加）	った野菜で家庭料理を作ったり、三線を演奏すると、参加者は、沖縄文化に大変興味をもった様子でした。ホストファミリーと参加者の質疑応答は、例えば、「東ティモールのおすすめ料理を教えてください」「Raba Raba という料理が美味しいです」、「三線のような弦楽器は東ティモールにもありますか」「ビオリノというものがあります」。がありました。参加者から「楽しかった、みなさんの普段の生活がわかり興味深かった」といった感想がありました。琉球大学法政エイサー団体の学生との交流では、演舞披露が始まるとすぐに「すごい」「力強い」「エネルギッシュ」等の称賛のコメントが多くありました。自国に同じようなクラブ活動がない参加者から「羨ましい」とのコメントもありました。お互いに質問をしながら同世代同士の交流を楽しんでいました。「エイサーの踊りにはどんな意味があるか」「白い顔の京太郎^{注1}（チャンダラーまたはチョンダラー）は闘志あふれるライオンをイメージしているか」などの質問が出ていました。最後はカチャーシー^{注2}を参加者と一緒に踊り、一体感を感じる交流になりました。 注1:京太郎とは沖縄の伝統芸能の1つまたは演者のこと。 注2: カチャーシーとはテンポの速い沖縄民謡の演奏に合わせて踊られる、両手を頭上に挙げ、手首を回しながら左右に振る踊りのこと。
5日目 2022年 12月19日	【ワークショップ】	プログラム全体を通しての学びを振り返り、グループに分かれて報告会に向けた発表準備を行いました。
6日目 2022年 12月20日	【報告会】 ① プレゼンテーション（グループ別） ② 講評 ③ 記念撮影・閉会	テーマに沿って、グループごとに発表を行いました。他のグループの発表にも熱心に耳を傾け、お互いに協力し補いながら発表していました。

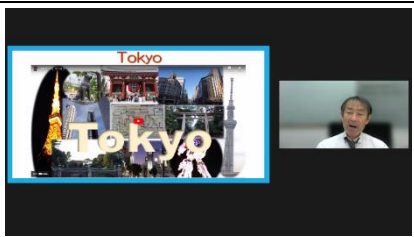
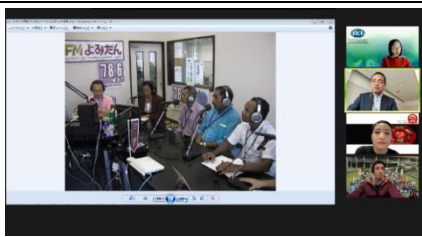
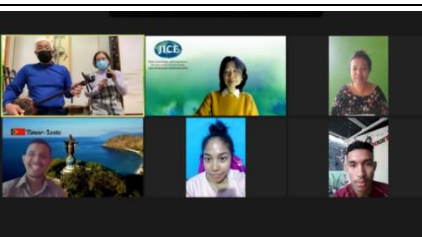
2. 記録写真

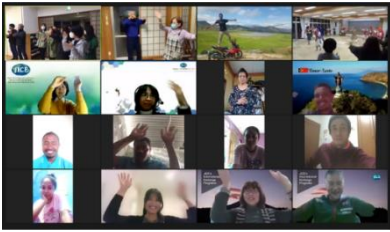
事前学習

	
7月29日【オリエンテーション】	7月29日【日本理解講義】「日本の社会と文化」
	
7月29日【講義・質疑応答】	7月29日【記念撮影】

訪日プログラム

訪問地：東京都、広島県、沖縄県

	
12月14日【日本理解講義】「日本の魅力」	12月15日【日本文化体験】 講和「東ティモール FM 開設エピソード」
	
12月15日【日本文化視察】花織会館	12月15日【日本文化体験】 講和「沖縄の食文化について」
	
12月16日【視察】 広島ピースツアー	12月17日【ホームビジット】 沖縄伝統文化紹介の様子

	
12月17日【交流】 琉球大学法政エイサー演舞披露	12月17日【ホームビジット】 全員でカチャーシーを踊る様子

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 大学生

このプログラムに参加させていただいたことに感謝いたします。今回のプログラムに参加して、日本文化、経済、日本人の礼儀正しさや親切さ、日本の気候等の理解を深めることができ、大変嬉しく思っています。

◆ 社会人

このプログラムに参加できて、幸せで胸が高まりました。日本についての講義はよくまとまっていて、分かりやすかったです。質疑応答の時間がもっとあれば良いと思いました。ありがとうございました。

◆ 大学院生

日本について更に深く知ることができ、東ティモールとの関係を促進する素晴らしい機会でした。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 講師

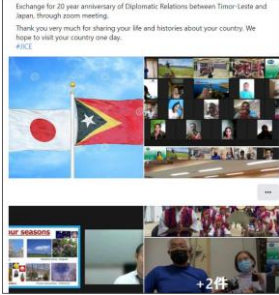
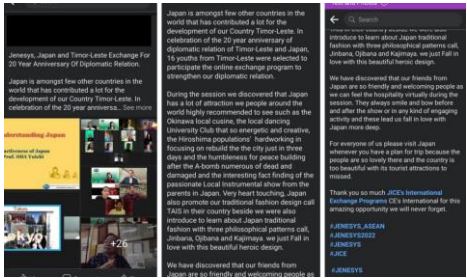
受講生が積極的に講義に参加して下さり嬉しく存じます。質問も予想以上に多く、受講生の日本への関心の高さがうかがえました。

◆ 講師

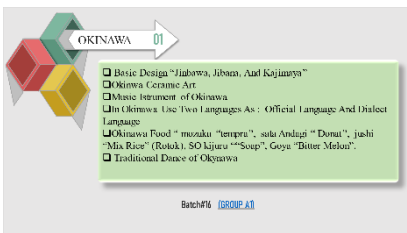
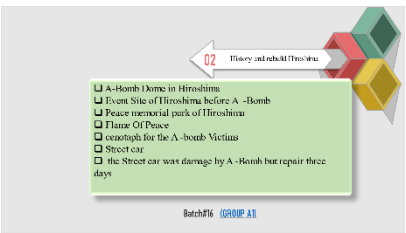
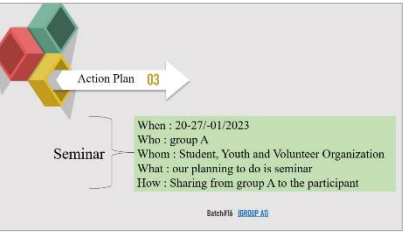
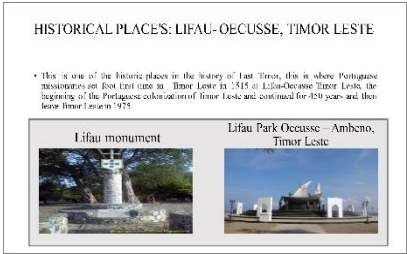
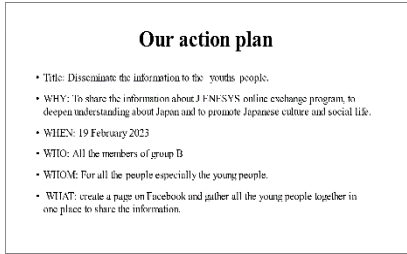
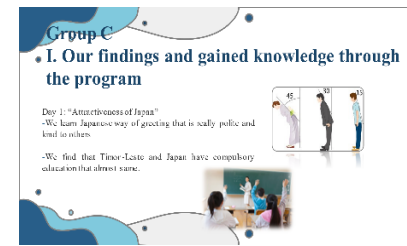
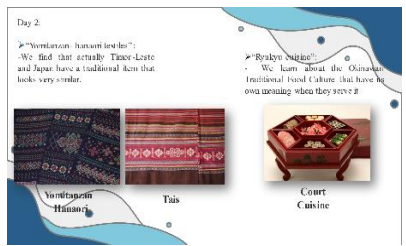
1時間の講義終了後、質問が次から次に寄せられ、皆さんとても熱心に聞いていただいたことがわかり、嬉しく思いました。

5. 参加者の対外発信（抜粋）

 Having participated in this program was a tremendous experience for me so far because I discover a plenty about Japan starts from it's geographical area which is 378,000km² area with 4 major islands. 65% of its geographical region was mountains and forest and about 110 active volcanoes and numerous hot springs. I learn about 3 climates: subarctic, temperate and subtropical with 4 seasons: Spring (March until May) - Where Sakura and Cherry Blossoms festivals happen and many students enjoy going to school, Summer (June to August) - Fireworks were even realized in 1733 in Sumida River (Tokyo), also Summer festivals and Bon Festivals. Children also participate in the festivals, Fall (September - November) - When Morniji, Japanese maple, and other leaves fall, Winter (December-February) - Where snow happens also Japanese people enjoy the natural variations: festivals, foods, and events. Indeed, the Japanese people character are very polite since they always bow to each other as an act of	 Hello everyone!!! My Name is Paula Ferreira, and I'm one of the participant of JENESYS Online Program for Timor-Leste!! It was such a wonderful exchange program which I could attend by online. Really appreciate and thank y... Lihat selengkapnya
--	--

2022 年 7 月 29 日 (Instagram) このプログラムに参加できたことは私にとって素晴らしい経験でした。日本の面積は 378,000 km²で 4 つの大きな島があるという地理的な内容から始まり、日本について多くのことを発見することができました。(後略)	2022 年 7 月 29 日 (Instagram) 皆さん、こんにちは！東ティモールの JENESYS オンラインプログラムの参加者です。オンラインで参加した素晴らしい交流プログラムでした。本当にどうもありがとうございました。
	
2023 年 12 月 19 日 (Instagram) 東ティモールと日本の外交関係開設 20 周年記念のオンライン交流プログラム。日本の歴史や生活などについて色々教えていただきありがとうございました。いつかきっと日本を訪れたいと思っています。	2023 年 12 月 20 日 (Twitter) JENESYS 日本・東ティモール外交関係開設 20 周年記念交流。日本は、東ティモールの発展に多大な貢献をした世界でも数少ない国の一つです。私たちは沖縄の地元の料理、とてもエネルギッシュでクリエイティブな地元のダンス大学クラブ、被爆地広島市の平和構築、沖縄の地元の人々、現地の楽器演奏など心に響くプログラムを通して多くの魅力を発見しました。東ティモールの伝統的な TAIS と関連づけてジンバナ、オージバナ、カジマヤと呼ばれる三つの哲学的な模様の伝統的な日本の織物ファッションについても学び、美しく大胆なデザインにすっかり魅了されました。日本のホストファミリーや大学生たちはとてもフレンドリーで、オンライン上であっても私たちをおもてなしの心で歓迎してくれていることがよくわかりました。セッション中、事あるごとにいつも笑顔でお辞儀をしてくれたことで、日本への愛がますます深まりました。東ティモールのみなさん、旅行の計画がある時はぜひ日本へ。人々は素晴らしく見逃せないスポットも多い美しすぎる国ですよ。こんな忘れがたい素敵な機会を与えてくださり本当にありがとうございました。

6. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

東ティモール外交関係開設 20 周年記念交流 ①		
 Okinawa 01 - Basic Design "Jidawa, Jibara, Arai Kijiyaya" - Mima Ceramic Art - Music Instrument of Okinawa - In Okinawa Use Two Languages As: Official Language And Dialect Language - Okinawa Food "mizutani", "tempura", "soba Andagi", "Donut", "jashu", "Mia Rice" (Rokki), SO kiyasu "Soup", Goya "Bitter Melon", - Traditional Dance of Okinawa Batch#16 GROUP A1	 02 Hiroshima and rebuild Hiroshima - A-Bomb Dome in Hiroshima - Event Site of Hiroshima before A-Bomb - Peace memorial park of Hiroshima - Flame Of Peace - Memorial for the A-bomb-Victims - Street car - The Street car was damaged by A-Bomb but repair three days Batch#16 GROUP A1	 Action Plan 03 Seminar - When: 20-27-01/2023 - Who: group A - Whom: Student, Youth and Volunteer Organization - What: our planning to do is seminar - How: Sharing from group A to the participant Batch#16 GROUP A1
■ 実施計画：今回の学びや気づきをセミナー形式で発信 ■ 実施時期：1月20-27日の間 ■ ターゲット：学生、若手、ボランティア組織		
東ティモール外交関係開設 20 周年記念交流 ②		
 HISTORICAL PLACES: LIFAU-OECUSSE, TIMOR LESTE This is one of the historic places in the history of East Timor, this is where Portuguese missionaries first first time in Timor Leste in 1511 to Lijakhe-Timor Leste, the beginning of the Portuguese colonization of Timor Leste and continued for 450 years and then leave Timor Leste in 1975. Lifau monument Lifau Park Oecusse - Ambeno, Timor Leste	 TIMOR-LESTE TRADITIONAL DANCE, ALSO, TRADITIONAL INSTRUMENT TRADITIONAL DANCE OF TIMOR-LESTE: the "Tarek" dance is women danced with a small drum and one of the old age compared where traditional in small area displayed. "Tarek" is performed by unmarried women as a courtship dance. "Tarek" dance is a demonstration without a song and it is accompanied by a drum. TRADITIONAL INSTRUMENT OF TIMOR-LESTE: Babador, stones, tolu, song, cow horn, wudu, etc. All of these create music instruments and keyboards.	 Our action plan - Title: Disseminate the information to the youths people. - WHY: To share the information about JENESYS online exchange program, to deepen understanding about Japan and to promote Japanese culture and social life. - WHEN: 19 February 2023 - WHO: All the members of group B - WHOME: For all the people especially the young people. - WHAT: create a page on Facebook and gather all the young people together in one place to share the information.
■ 実施理由：日本文化や社会生活について理解を促進する目的で、今回のオンラインプログラムで学んだ情報を共有する。 ■ 実施時期：2月19日 ■ ターゲット：主に若い世代 実施方法：Facebook ページを用いて日本の情報を発信する。		
東ティモール外交関係開設 20 周年記念交流 ③		
 Group C I. Our findings and gained knowledge through the program Day 1: "Attractiveness of Japan" - We learn Japanese way of greeting that is sajiyo and kind to others. - We find that Timor-Leste and Japan have compulsory education that almost same.	 Day 2: "Timor-Leste and Japan have a traditional item that looks very similar." We find that actually Timor-Leste and Japan have a traditional item that looks very similar. Handicrafts: Hamao Tais Court Cuisine	 III. "Action Plan" - Disseminate on social media by video and images about what we have learned. - Give presentations about what we have learned during the program to work. JICE JENESYS 21
■ 実施計画 プログラムを通しての学び・気づきを SNS 上で写真・ビデオを通して配信する。 プログラム中に学んだことを職場で発表する。		

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）